

## TechnoProject

株式会社 テクノプロジェクト

業種 情報通信業

事業  
内容

ソフトウェアの受託開発、情報システムの構築および保守、自社ブランドソフトウェアの販売、クラウドサービスの提供、その他各種ITサービスの提供

創業 昭和59(1984)年3月1日

代表者 代表取締役社長 山中 茂

社員数 235名(男180名 女55名)

〒690-0826

島根県松江市学園南2-10-14 タイムプラザビル

TEL/0852-32-1140

https://www.tpj.co.jp/

- 本社
- コナンテクノポート
- 出雲オフィス
- [TSKグループ]
- 山陰中央テレビジョン放送株式会社
- 株式会社ミック
- ティーエスケイ情報システム株式会社
- TSKエンタープライズDC株式会社
- 株式会社TSKネクスト
- 株式会社山広

求める人材像 Check!!

- チームワーク/関係するすべての人々から信頼され、高いコミュニケーション力を持つ人
- チャレンジ/常に新しい事や改善を積極的に考えチャレンジする人
- プロフェッショナル/プロ意識を持ち、常に努力する人

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0852-32-1140

採用直通 E-mail

recruit@tpj.co.jp

資料請求

インターンシップ

会社見学

公式サイトは  
こちらソリューションビジネス本部 第二ソリューション開発部  
2018年入社

## 利用者に寄り添ったシステム開発を目指す

学生時代、プログラミングを取り入れた医療分野の研究をしていた経験から、医療介護分野でのICT活用で実績の高い弊社を選びました。地域医療連携システムの保守業務などを経て、現在は電子カルテのオプション機能の導入業務を担当。全国各地の病院と綿密な打ち合わせを重ねて、それぞれの病院や利用者のニーズに合わせた設定を行い、医療従事者の業務改善に寄与しています。

ソリューションビジネス本部 第三ソリューション開発部  
2019年入社

## 充実した教育制度と職場環境

美術館や図書館などの文化施設で使われている収蔵品管理システムのチームに所属。現在は、博物館の公開検索サイトの開発業務を担当しています。お客様やチームの仲間と共に作り上げたシステムが、実際ネット上で動き、多くの人の役に立っていることにやりがいを感じます。大学では数学を専攻。IT業務に不安はありましたが、充実した教育制度と職場環境で育ててもらっています。



## 社員が心身ともに元気で活躍できる職場に

血液検査と体重・腹囲計測に、栄養士による個別の栄養指導を組み合わせた健康管理プログラムを始めて5年目。参加者の8割は、血液検査の項目が4つ以上改善するなど、効果が上がっている。健康的な食品を提案する「ミニコンビニ」の設置などで社員の意識も変化、間食に菓子パンを購入する人も減った。「心身元気にいい仕事を」。社長の強い思いだ。

ソリューションビジネス本部 第三ビジネス部  
2018年入社

## 「地方×IT」の可能性に注目

大学で情報経済を学び、「地方×IT」の可能性を感じ始めました。現在は、金融機関のお客様をメインに、システムの改修や内部処理のツール作成、サーバー構築など幅広い業務を担当しています。SEとしての知識や技術だけでなく、お客様の業務内容も理解する必要があり、勉強の日々です。その学びを業務に活かし、地元で貢献できることがモチベーションにつながっています。

ソリューションビジネス本部 第三ビジネス部  
2019年入社

## ITを活用して農業に貢献

山陰地方を中心に、農水関係のお客様の業務システム開発や既存システム更新に携わっています。実家が農家で、幼い頃から農作業の手伝いをしてきたので、ITを活用して農業に貢献できることに誇りとやりがいを感じます。新たなプロジェクトが始動するたびに新たな知識が必要になり、日々勉強が欠かせません。ハイレベルな先輩に刺激を受け、自身のスキルアップに励んでいます。



## 社員の資格取得を積極的に支援

創業当初から社員の国家資格取得に積極的に、全社員の約8割は情報処理技術者、超難関のレベル4保持者も4割を超える。「建築業界などと違って資格がなくても仕事はできるが、能力を客観的に証明できるし、社員のスキルアップや会社のステータス向上にも重要」と山中社長。受験料や研修費など取得にかかる費用は会社が全額負担し、社員のチャレンジを後方支援する。

## 株式会社 テクノプロジェクト

社会インフラシステム構築で  
人々の暮らしを便利に

「ハードに強い学生さん達とタッグを組むことでIoTシステムを実現できました」と山中茂社長(02)。アプリケーションには島根発のプログラミング言語《Ruby》を使い、地元の学生をパートナーにする。

「ハードに強い学生さん達とタッグを組むことでIoTシステムを実現できました」と山中茂社長(02)。アプリケーションには島根発のプログラミング言語《Ruby》を使い、地元の学生をパートナーにする。

行政機関の届け出システム、博物館や図書館の管理業務システム開発など、社会インフラを担うシステムの構築・運営で、人々の暮らしを向上させてきた《株式会社テクノプロジェクト》。特に国内初の本格的電子カルテシステム導入や、地域医療ネットワーク構築などのヘルスケア部門は全国的に高い評価を得てきた。時代のニーズに即応する力も強い。新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威をふるう中、しまねソフト研究開発センター(i-toc)、松江高専と共同で、二酸化炭素濃度計《WaKaYo》を開発。複数フロアの換気状況を遠隔で集中管理することが可能で、昨夏の発売開始以来、県内外から問い合わせが相次いでいる。自治体や観光業界などを中心に既に150台の端末が活用されている。

「昨年未だにブランドینگを一新。新スローガンとして「生きるを良くする技術欲」を掲げた。「うちは島根にある会社。ITをツールに地域の課題を解決し、周囲を笑顔にした」。企業イメージがより分かりやすく伝わるよう、今春にはインパクトのあるホームページにリニューアルした。「こだわる社員が多くて、予定が大幅にずれ込みました」と苦笑する山中社長。IT企業ならではのエピソードだ。

技術力だけでは、良いものは生まれない。同社は、年次有給休暇取得や残業時間減少を進めるほか、栄養士による食生活指導や、社内外に窓口を設置してメンタルヘルスケアを行うなど、社員の健康管理に注力。今年2年連続で経済産業省から「健康経営優良法人」に認定された。デジタルトランスフォーメーション(DX)が加速化する中、テクノプロジェクトの存在は益々増していくに違いない。

クリエイティブな力と  
実践豊富な技術力が生む  
ニーズを超えるサービス

など、メイド・イン・シマネにこだわった。元々実績豊富なソフトウェアに加えてハードに挑んだ今回の経験をもとに、得意のヘルスケア分野での新商品開発を思案中だという。山中社長は、「まずは医療機器製造販売の許可を年内に取得し、実現を目指します」と意気込む。



1 宍道湖を見渡せる美しいロケーションに建つオフィスビル《コナンテクノポート》2 部署を超えた横のつながりも強く、社内での情報共有もスムーズに行われている 3 6階オフィスは昨年、まるでカフェのようなおしゃれな雰囲気に改装。緑を多く配置し、フリーアドレス制も導入した。「社員がクリエイティブしやすい環境づくりは、経営者の責務です」と山中社長 4 プライバシーなどの機微情報を多数扱うテクノプロジェクト。厳密なセキュリティ管理に緊張を強いられる中、社員同士の気兼ねないコミュニケーションはリフレッシュにも 5 《第2回国宝松江城マラソン》に参加したTPJマラソン部18名。現地では、横断幕を持って社員も応援に駆け付けた